

みやざき特別支援教育推進プラン（改定版）の策定について

1 策定の趣旨

県教育委員会では、「第二次宮崎県教育振興基本計画」（平成 27 年 9 月改定）に示された今後の特別支援教育推進のための施策の方向性を具現化するために本プランを平成 24 年 12 月に策定している。

今回は、国の動向や本県における新たな課題、本プランの成果等の検証及び課題等について整理を行い、取組方針等を中心に本プランの改定版を策定する。

2 経緯

平成 24 年 12 月 みやざき特別支援教育推進プラン策定



平成 30 年 7 月 定例教育委員会後勉強会 ※改定版（素案）の説明



平成 30 年 8 月 定例教育委員会 ※パブリック・コメント（素案）説明



平成 30 年 9 月 文教警察企業常任委員会 ※パブリック・コメント（素案）説明



平成 30 年 9 月 21 日 パブリック・コメント開始
平成 30 年 10 月 22 日 パブリック・コメント終了



平成 30 年 11 月 定例教育委員会付議 ※改定版（案）付議・計画決定



平成 30 年 11 月 文教警察企業常任委員会 ※報告

3 パブリック・コメント

(1) 提出者数及び件数 21名(30件)

(2) 主な意見

番号	主な意見	回答
1	発達障がいのある子どもの現状と課題や、その子どもたちが高等学校卒業した後についても記載してもらいたい。	いただいた御意見については、小・中・高等学校の現状や課題(23頁から31頁まで)の中にまとめており、施策の柱3及び施策の柱4を具現化する過程で参考にさせていただきます。
2	家庭と教育、福祉の連携に関する方策を記載してもらいたい。	いただいた御意見については、施策の柱1を具現化する過程で参考にさせていただきます。
3	手話の普及や啓発に努めてもらいたい。	いただいた御意見については、施策の柱4及び施策の柱6を具現化する過程で参考にさせていただきます。
4	災害時に特別支援学校で支援ができるような準備をお願いしたい。	いただいた御意見については、施策の柱5を具現化する過程で参考にさせていただきます。
5	障がい理解を広めるために学校間交流の機会を多くの学校に広げてもらいたい。	いただいた御意見については、施策の柱6を具現化する過程で参考にさせていただきます。

(3) パブリック・コメントに基づく修正

① 該当箇所 P50

意見	発達障がいのある子どもの現状と課題や、その子どもたちが高等学校卒業した後についても記載してもらいたい。
修正	課題として多くの意見があった高等学校卒業後に向けた取組について、展開イメージ図に「自立と社会参加に向けて」と追記し、わかりやすくした。

② 該当箇所 P46

意見	家庭と教育、福祉の連携に関する方策を検討してもらいたい。
修正	展開イメージ図に、家庭と教育、福祉の連携を追記し、わかりやすくした。

③ 該当箇所 P56

意見	手話の普及や啓発に努めてもらいたい。
修正	展開イメージ図に、手話による交流のイラストを追記し、わかりやすくした。